

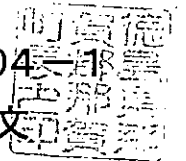
那賀建第164号

平成20年10月17日

国土交通省道路局長 殿

徳島県那賀郡那賀町和食郷字南川104番1号

那賀町長 坂口 博文



今後の道路行政についての意見・提案について(提出)

日頃は、道路整備の推進にご尽力を賜り、厚くお礼申し上げます。
道路の整備が遅れている地方にとりましては、さらなる整備の遅れは、地域の死活問題でありますので、これまでも国等に対し、様々な意見書を提出させて頂いております。

さて、ご依頼のありました「今後の道路行政についての意見・提案」につきまして、別添のとおり提出いたします。

地方のおかれている厳しい状況をご理解の上、「新たな中期計画」を策定いただきますようお願い申し上げます。

道路は人の血管と同様であり、動脈から毛細血管まで不必要な道路はない。

必要性に関して交通量のみで判断すべきでないことも同じであり、少ない交通量でも人が生活するためには必要な「命の道」(血管)である。

その道が度々災害により通行不能(梗塞)になるようでは、命に関わることは当然である。

日本全国において少子高齢化が進む中で、子どもや高齢者等の交通弱者にとっての移動手段である交通機関の確保にあらゆる方策を検討協議する中で、有償運送体系を構築するにも安全な道路は不可欠である。

① 対向すらできない国道は早急な改良工事が必要であり、その事業を国、地方のどちらが担うにせよ必要な財源を確保すべきである。

② 集落と病院・公共施設を結ぶ道路、地域産業の活性化に欠かせない道路整備の財源確保をすべきである。

③ 合併市町村の拠点から高速・高規格道路へのアクセスは、30分以内に可能にすべきある。
(徳島の高速道路は、未だ未整備区間が多い)

④ 過疎地域の各自治体は、厳しい財政状況下にあるため、補助制度等に優遇措置を講ずるべきである。

⑤ 町村における道路では、町道・農道・林道との分け隔てはなく生活道として活用されているため、町道・農道・林道と区別せず、道路を一本化して欲しい。
また、整備については、国土交通省と農林水産省等と各省庁による補助事業で事業採択することなく、道路整備事業として、事業採択して欲しい。
併せて、補助率についても格差がないように一本化して欲しい。

②—1 地域の現状と抱える課題

徳島県

那賀町

○ 現状

・異常気象時の通行規制・落石災害の頻発

町内の国道では、異常気象時の事前通行規制が頻発するとともに、毎年、落石等により長期間の通行止め・通行規制となり、山間部で迂回路が十分でないため、住民生活や経済活動、観光・交流に大きな影響を与えている。

また、地震発生時には落石や橋梁の損傷等により、幹線道路が通行不能になり、町道等でも同様な被害が想定され、孤立する集落が多数発生するおそれ大きい。

・救命救急

全国的な医師不足の影響により、町内の診療所を廃止等せざるを得ない状況となっており、病気や怪我の際に治療を受けることができる医院まで搬送する時間が長くなり、特に高齢者の割合が大きい過疎地では、生活の安心度が低下している。

また、国道においてさえ対面通行不能区間があり、町道では、幅員が狭く、救急車両の通行の障害となっている。

・過疎と高齢化

山間過疎地では、自動車が唯一の移動手段であり、高齢者の増加とともに重要性を増し、生活をしていくうえで必要不可欠であるが、未だに家の近くまで自動車が入れないところが沢山ある。

○ 課題

・財政支援

過疎町村の厳しい財政事情から、真に必要な道路の着実な整備を図っていくためには、国補助事業の補助率の嵩上げが必要。

・整備事業の採択

それぞれの地域の特性や利用条件等実情にあった道路整備や改良工法の採用にあたり柔軟な対応が必要。

(現在も一部認めていただいているが、より柔軟にお願いしたい。)

②ー2 地域の目指すべき将来像

徳島県

那賀町

那賀町は、徳島県の南東部に位置し、地域の北西部には四国山地、南部には海部山脈などを配しており、標高1,000メートル以上の山々に囲まれ、地域の9割以上が森林の中山間地域です。そして、県土の6分の1を占める面積694.86平方キロメートルを有し、人口約1万1千人の5町村（鷺敷町・相生町・上那賀町・木頭村・木沢村）が合併した町です。

- 町村合併の効果を発揮しての新町建設や合併の不利益を住民が受けないようにするためには、各旧町村間の移動時間の縮減は、どうしても必要な条件である。
- 道路の整備により、林産物が容易に集積でき、広大な森林資源を活かした森林林業の活性化と雇用の確保、標高差を利用した地域農業の振興ができ、合併前旧町村中心地を各拠点とした定住人口の確保が出来る。
- 中心となる拠点及び都市まで安全で安心して短時間で移動ができ、過疎地においても安心して生活が出来る。
- 高速道路へ短時間でアクセス出来るため企業進出が可能となる。

別添参照（那賀町バイオマスタウン構想）

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

徳島県

那賀町

○ 重点事項	○ 代表事例	○ 期待する効果や評価等	○ その他
・地域活力の向上 ・地域産業の振興 ・地域間交流の推進 ・救急体制の確立と医療の集約 ・交通弱者の足確保 ・生活空間の拡大 ・国土の保全	・企業の進出 ・農林産物の生産拡大 ・入り込み客の増加 ・安全・安心な道路 ・公共交通の集約と有償運送体系の確立 ・移動圏域の拡大 ・森林管理のための道路整備	・雇用の確保と定住人口の増 ・農林家の所得向上 ・商工観光の活性化 ・病院・診療所の圏域的な集約 ・代替えバス等運営費節減 ・交流促進と入り込み観光客の増加 ・水源涵養、温暖化防止対策	